

～レースレポート TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge～

2024年 特別戦 豊田



■大会概要

日程: 2024/11/30(土)～12/1(日)
 場所: 愛知県豊田市
 総走行距離: 61.98km

■スペシャルステージ設定

SS1: 0.94km	SS 順位 3 位	SS3: 2.15km	SS 順位 5 位
SS2: 1.18km	SS 順位 3 位	SS4: 2.00km	SS 順位 4 位

■リザルト C-2(Challenge): Vitz 1,500cc 総合 4 位/6 台

C-2(Challenge) : Vitz 1,500cc 限定 (NCP131/NCP91)													
1	151	橋木 太一	橋木 奈菜子	ヴィッツ	NCP131	うつヴィッツ	1:13.7	1:15.0	2:29.5	1:05.0	06:03.2	06:03.2	22
2	152	山口 大輝	佐藤 旭	ヴィッツ	NCP131	YH超普通かしわちゃんVitz	1:13.4	m 1:33.2	2:25.3	1:03.6	06:15.5	06:15.5	+0:12.3 39
3	153	壇岡 俊希	石井 亮	ヴィッツ	NCP131	トヨタ自動車東日本VITZ	1:19.1	1:16.7	2:32.6	1:07.1	06:15.5	06:15.5	+0:12.3 39
4	156	大野 秀昭	神田 亜季	ヴィッツ	NCP131	GLW Racing 1st VITZ	1:16.5	1:17.9	2:42.3	1:07.1	06:23.8	06:23.8	+0:20.6 47
5	154	いそだ さとる	岩城 のほる	ヴィッツ	NCP131	カッテム! 利府大好きVitz 5代目	1:21.4	m 1:33.2	2:46.2	1:10.9	06:51.7	06:51.7	+0:48.5 59
-	155	桂田 崇弘	浦田 貴昭	ヴィッツ	NCP131	勝山フクタカレーシング&T京都Vitz	1:17.4	1:23.2	2:38.1	R	R	R	-- --

ダイジェスト

11/30-12/1 に愛知県にて開催された TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 特別戦 豊田に GLW レーシングチームが参戦しました！

前回の Rd. 12 高岡 万葉までがレギュラーシーズンの大会でしたが、今回のラウンドはシーズン成績とは関係のない、特別戦という立ち位置でした。

シーズンの成績が懸っていないとは言え、本業の設計開発でお世話になっているトヨタ自動車の社員の方や、地域の方々の目の前でのレースであるため、決して気の抜けない週末でした。

GLW レーシングチームの今期最終戦となった本ラウンドでは、普段のレーシングチームのメンバー以外にも豊田市を拠点に働く従業員を中心に多くの仲間が応援に駆けつけてくれました。また前日の決起会にはさらに多くの従業員が参加し、大変盛り上がりました！また今回も学生インターン2名が参加してくれました。元F1ドライバーで現WEC/スーパーフォーミュラドライバーの小林可夢偉選手を目の前に大興奮でした。



さてレースについては、気温は低いものの前日から晴天に恵まれ、非常に良い気分でレースに入ることができました。

前回のラウンドから約1ヶ月、前回同様ドライバー大野秀昭、コ・ドライバー神田亜季という、今シーズンのポイントが高かった二人によるペアで臨みました。6つのSS区間から構成される普段のラウンドとは異なり、今回の特別戦 豊田では3つのSS区間と1つのSSS(スーパースペシャルステージ)の計4つのコース

での合計タイムを競うフォーマットでした。

今回のラウンドで最も注目すべきコースは何と言ってもSSS、先週開催されたWRC最終戦のラリージャパンで実際に使用されたレイアウトのまま、豊田スタジアムの中を2台が並走して競う一風変わったステージになっています。

こちらのコースでは、午前中はモリゾー選手、TGR WRTのラトバラ監督、WRC Rally1のドライバー勝田貴元選手によるデモンも行われ、大変盛り上がりました。

豊田スタジアム近くのSS1では、360度ターンを含む非常に難しいレイアウトのパークでしたが、クラス内3位と良い滑り出しを見せました。

SS2は、あのモリゾー選手が監修したという、プロ仕様の最高のグラベルコースで、四輪ドリフトを楽しむことができました。クラス内でも複数車両がミスコースする中、大きなミスもなく3位で纏めることができました。



林道を走るSS3では、競技区間内で停止している車両に眼を奪われている間にロストしてしまい、後半はドライバーの大野が目視で責める厳しい戦いとなりました。結局このSS区間で5位となり、大幅なタイムロスをしてしまい、全体4位に沈んでしまいました。

最後のSS4(SSS)は前述の通り今回の目玉コースであり、ドライバー、コ・ドライバーともにワクワクしながら出番を待っていました。いざスタートし、最初のコーナーを非常にスムーズに駆け抜けていたところ、事件が起きました。並走していたチームの車両が最初のコーナーで早々にクラッシュしてしまい、なんと本SSがキャンセルとなってしまいました。二人ともジャンプ台を楽しみにしていただけに非常に残念な幕切れとなってしまいました。

SS4に関しては救済措置ということで妥当と思われるタイムが付与され、最終的に4位という結果でフィニッシュしました。後味の悪い終わり方ではあったものの、むしろラリーらしさを感じる最後でもありました。事故車両に遭遇することや、その影響でSSがキャンセルになるということは「ラリーあるある」の一つです。惜しくも最終戦で表彰台に上がることはできませんでしたが、この締まらない感覚も含めて、今シーズン初めて挑戦したラリーの面白さを感じる最終戦となりました。

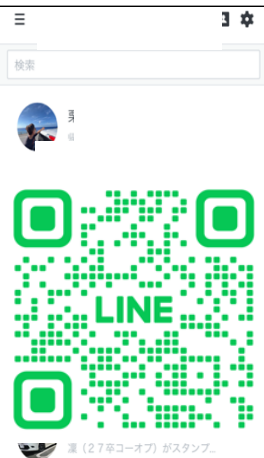


来シーズンからは本格的にラリーチャレンジに参戦する予定です。今後とも応援のほどお願いいたします！



各種 SNS やっています！

公式 LINE
候補者との主要連絡手段



YouTube
毎日投稿
日本語 8 割 ・ 英語 2 割



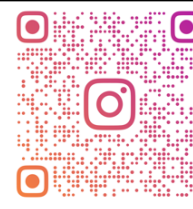
Facebook
主に海外からの需要



Linkedin
海外向け情報発信・採用



Instagram
リール投稿しています！



GLW について

GLW は、モビリティ業界において専門技術サービスを提供するビジネスソリューション企業です。

社員一人ひとりの持つ技術力を武器に、受託開発や技術コンサルティング、エンジニア派遣サービスを展開しています。創業3年目の若い会社ですが、社員数は既に90人を超えており、日本中の自動車メーカーおよびサプライヤーの設計開発業務を支えています。

社員構成上の特徴は、外国籍社員の割合が7割以上である点です。豊かなダイバーシティと技術力の掛け算で、日本のモビリティ業界を変革に導きます。

<メディアからのお問合せ先>

株式会社 GLW 海外戦略部/人事部 シニアリーダー 杉浦 真吾

TEL: 045-900-8393 E-mail: newg-recruit@glw.co.jp



GLWJAPAN